

PIN番号が入力できない

PIN番号が入力できない原因はいくつかあります。
まずは下記の項目を確認してください。

①キャッシュがPCに残っていて、キャッシュの不整合を起こしていないか？

他の発注機関が運営する電子入札システムを利用したときのキャッシュがPCに残っていて、キャッシュの不整合を起こしている可能性がありますので、以下をお試してください。

- タスクトレイの電子入札補助アプリ () の右クリックメニューから「キャッシュ削除」を実行します。
- 上記実施後、右クリックメニューにある「終了」で電子入札補助アプリを終了し、Windowsのスタートメニューより再起動します。
- Webブラウザ(Microsoft Edge(Chromium版)もしくはGoogle Chrome)のキャッシュをクリアします。
⇒Edgeご利用の場合は、2～3ページ目以降の「キャッシュクリア方法」を実施してください。
⇒Chromeご利用の場合は、9～10ページ目以降の「キャッシュクリア方法」を実施してください。
- ブラウザを一旦すべて閉じて、Webブラウザを再起動します。

②ポップアップブロックでPIN番号入力画面がブロックされていないか？

- ⇒Edgeご利用の場合は、4～6ページ目に記載されている、「ポップアップの許可設定」を実施してください。
- ⇒Chromeご利用の場合は、11～14ページ目に記載されている、「ポップアップの許可設定」を実施してください。

③拡張機能が有効になっていないか？

- ⇒Edgeご利用の場合は、7～8ページ目に記載されている、「拡張機能を無効にする方法」を参考に設定を実施してください。
- ⇒Chromeご利用の場合は、15～16ページ目に記載されている、「拡張機能を無効にする方法」を参考に設定を実施してください。

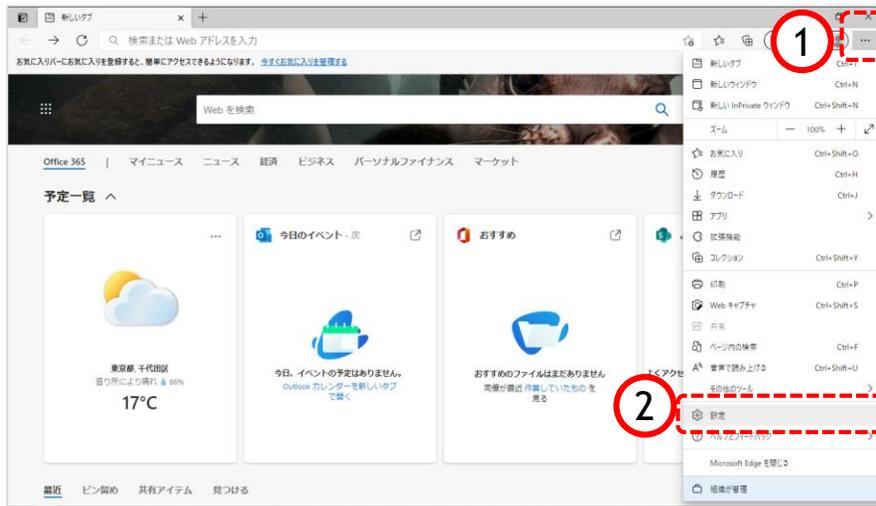
※また、PIN番号を何度も間違えて入力をした場合、カードにロックがかかってしまう場合があります。
カードのロック、ロックの解除などにつきましては各認証局へお問い合わせください。

パソコンのOS		ブラウザ
Windowsのみ		Microsoft Edge (Chromium版) もしくは Google Chrome
▼対応しているバージョン		▼対応しているバージョン
Windows 10 (32ビット/64ビット)	Home Pro	Microsoft Edge (Chromium版) もしくは Google Chrome
Windows 11 (64ビット)	Home Pro	Microsoft Edge (Chromium版) もしくは Google Chrome

- ご契約の民間認証局のICカードリーダーのソフトウェア条件も合わせてご確認ください。
- Windows ログインのユーザ名は、1バイト文字(半角英数字)に限ります。
- 令和4年6月6日以降、Windows10に搭載されているInternet Explorerには対応しておりませんので、Microsoft Edge (Chromium版) もしくはGoogle Chromeをご利用ください。

Microsoft Edgeの場合 キャッシュクリア方法

ブラウザを「Microsoft Edge」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。
設定の手順は以下の通りです。




手順1

以下の手順で、
Microsoft Edge画面から設定画面
を開きます。

- ① 「…」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。




手順2

設定のプロファイル画面が表示され
ます。

- ③ 「プライバシー、検索、サービ
ス」 をクリックします。



手順3

プライバシー、検索、サービス画面が表示されます。

④『閲覧データのクリア』欄の「クリアするデータの選択」ボタンをクリックします。



手順4

閲覧データをクリア画面が表示されます。

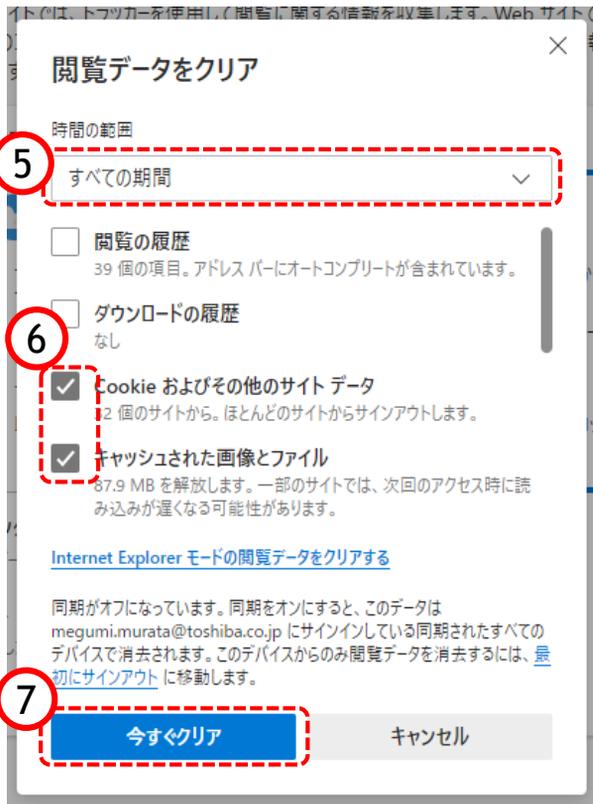
⑤『時間の範囲』項目の「すべての期間」を選択します。

⑥「Cookieおよびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスにチェックをします。

⑦「今すぐクリア」ボタンをクリックします。

データクリアが完了すると、プライバシー、検索、サービス画面に戻るため、右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアは終了です。



Microsoft Edgeの場合 ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。
ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。
ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

[*.]pref.osaka.jp

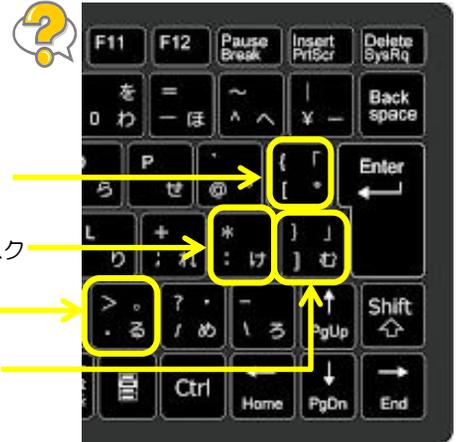
- 「[」は左角カッコ
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「*」はアスタリスク
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「.」はピリオド
(「る」のキーから入力可能)
- 「]」は右角カッコ
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。

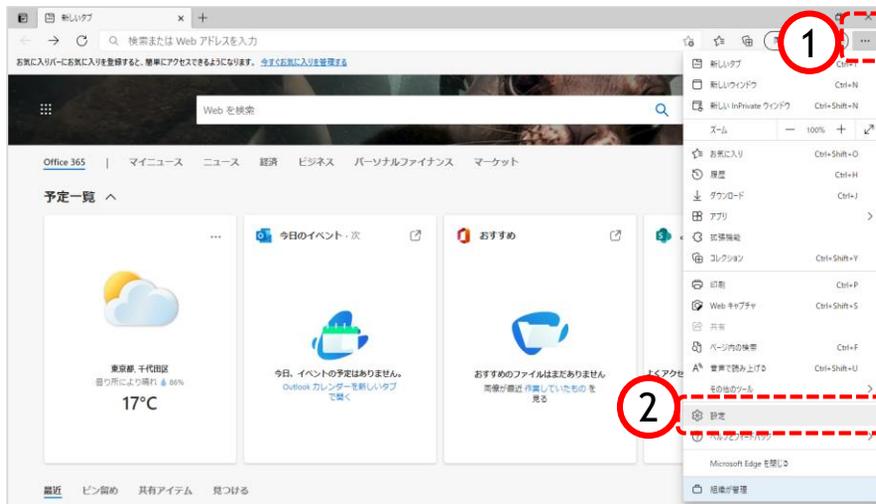


半角、全角切り替えキー

キーボードのキー配列図 (一部抜粋)



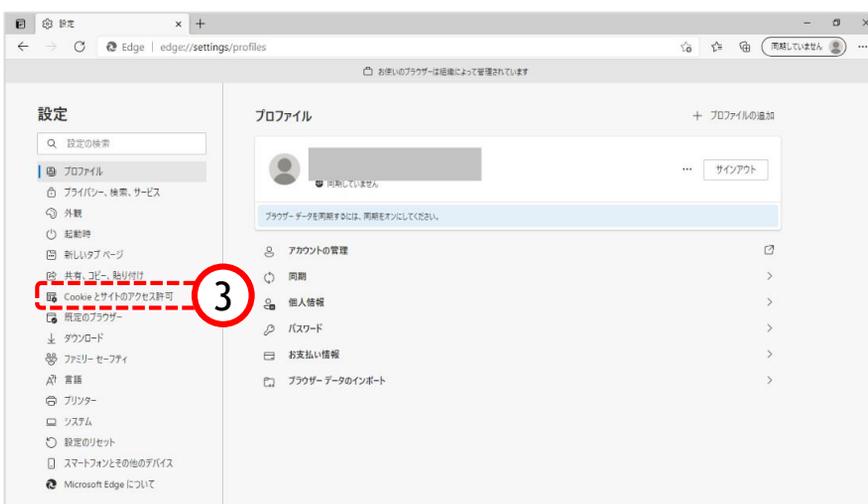
- [: 左角カッコ
- * : アスタリスク
- . : ピリオド
-] : 右角カッコ



手順1

以下の手順で、Microsoft Edge画面から設定画面を開きます。

- ① 「…」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。



手順2

設定のプロファイル画面が表示されます。

- ③ 「Cookieとサイトのアクセス許可」 をクリックします。

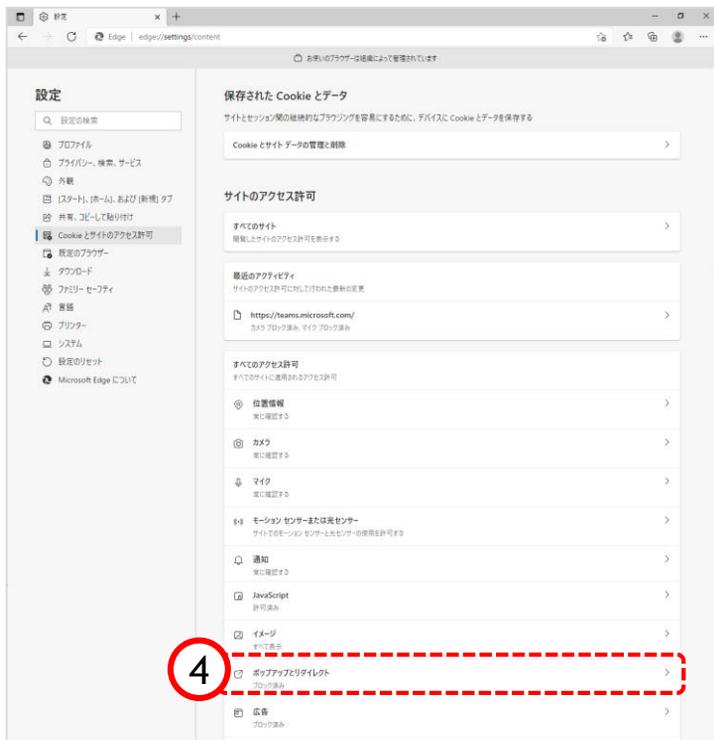


Microsoft Edgeの場合 ポップアップの許可設定

手順3

Cookieとサイトのアクセス許可画面が表示されます。

④「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



手順4

ポップアップとリダイレクト画面が表示されます。

⑤『許可』欄の「追加」ボタンをクリックします。



手順5

サイトの追加画面が表示されます。

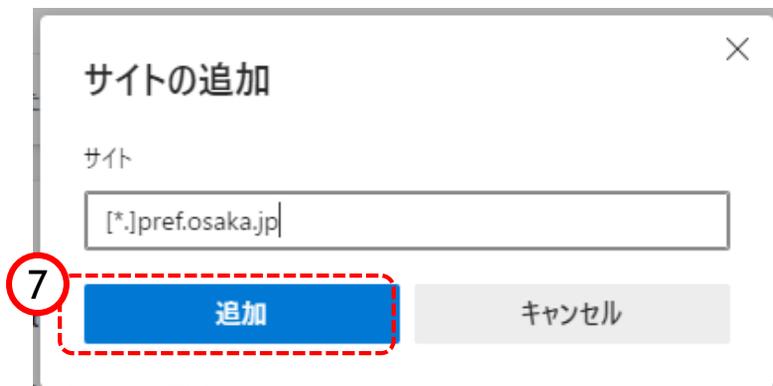
⑥『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

入力するアドレスは、
[*.]pref.osaka.jp
です。



手順6

⑦ 「追加」 ボタンをクリックします。



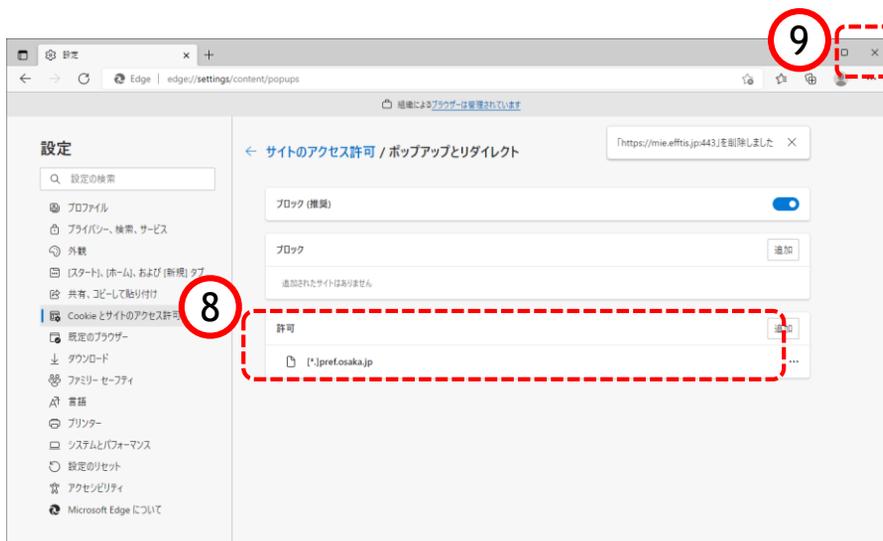
手順7

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

⑧ 『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

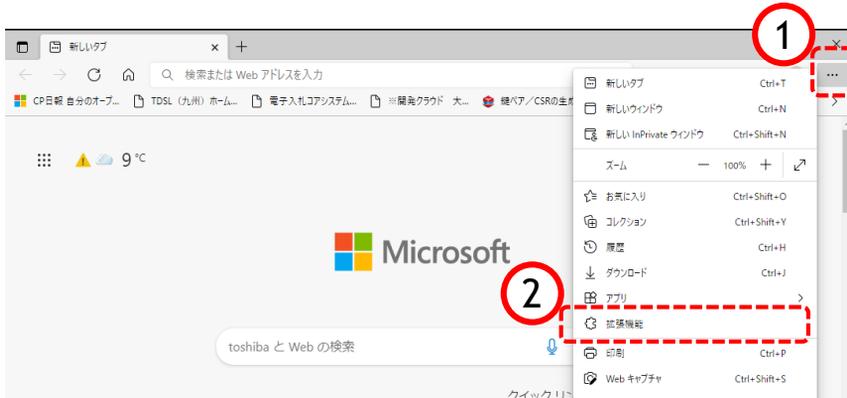
⑨ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でポップアップの許可設定は終了です。



Microsoft Edgeの場合 拡張機能を無効にする方法

後から追加したツールバー等、拡張機能が有効になっていると、「これらのページは応答していません」、「about:blank」といったメッセージが表示され、正しく動作しない場合があります。後から追加したツールバー等、拡張機能を無効にします。



手順1

以下の手順で、

- ① 「・・・」をクリックします。
- ② 「拡張機能」をクリックします。



手順2

拡張機能画面が表示されます。

- ③ 拡張機能画面に表示されているメニューから「拡張機能の管理」をクリックします。



手順3

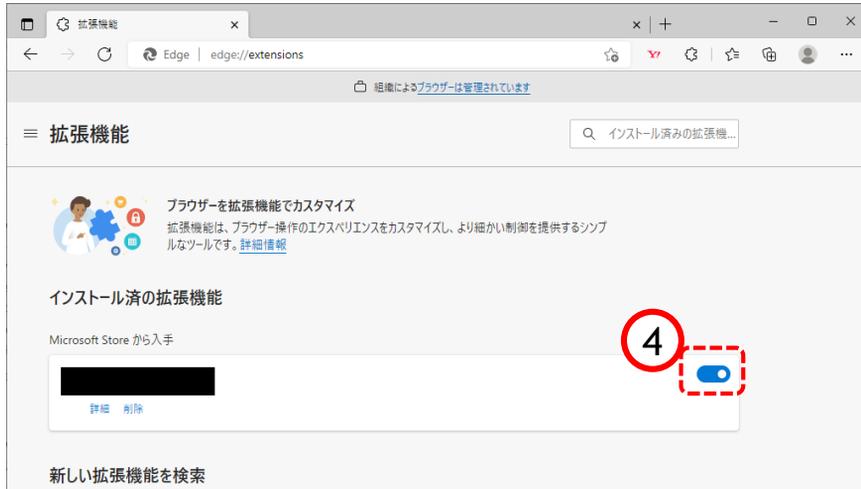
左の画面のように、「拡張機能がインストールされていません。」と表示されたら手順5に進んでください。



Microsoft Edgeの場合 拡張機能を無効にする方法

手順4

④後から追加したツールバー等について無効 にします。



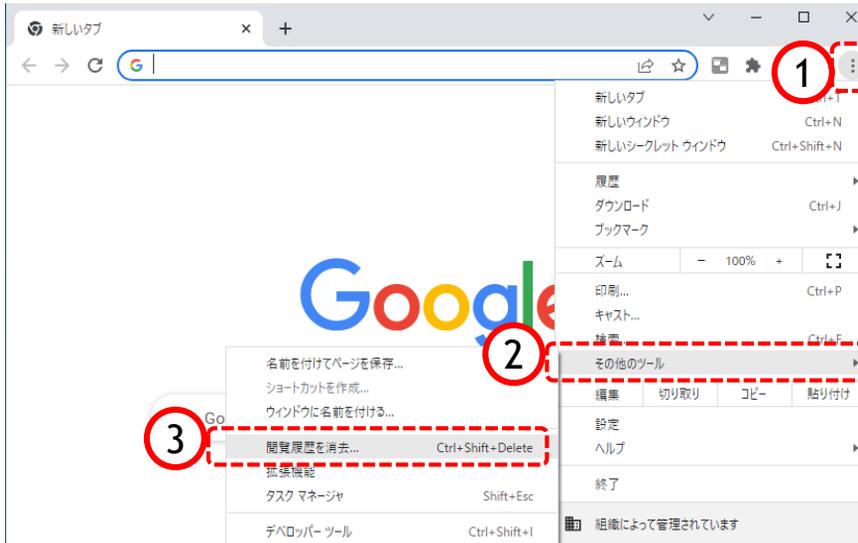
手順5

⑤ 右上「X」ボタンをクリックし、Edgeの設定画面を閉じます。

以上で、拡張機能を無効にする方法は終了です。



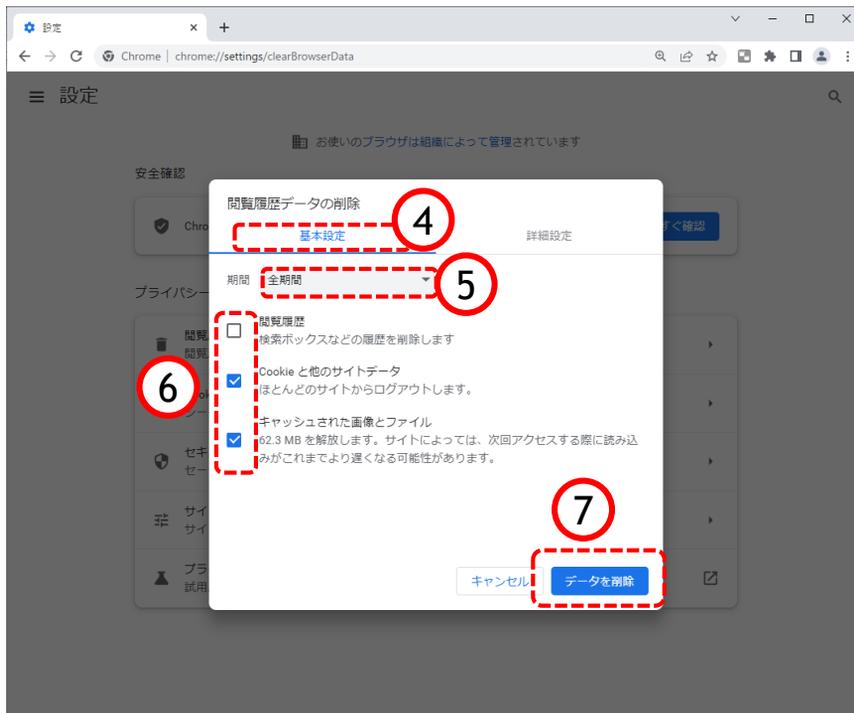
ブラウザを「Google Chrome」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。設定の手順は以下の通りです。



手順1

以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

- ① [⋮] ボタンをクリックします。
- ② 「その他のツール」をクリックします。



手順2

設定のプロファイル画面が表示されます。

- ④ 「基本設定」をクリックします。
- ⑤ 『期間』項目の「全期間」を選択します。
- ⑥ 「閲覧履歴」のチェックボックスにチェックが入っている場合、外します。
- ⑦ 「データを削除」ボタンをクリックします。



データクリアが完了すると、設定画面に戻るので、右上「×」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアは終了です。

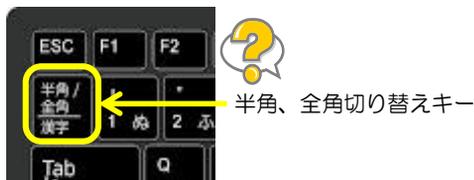
Google Chromeの場合 ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

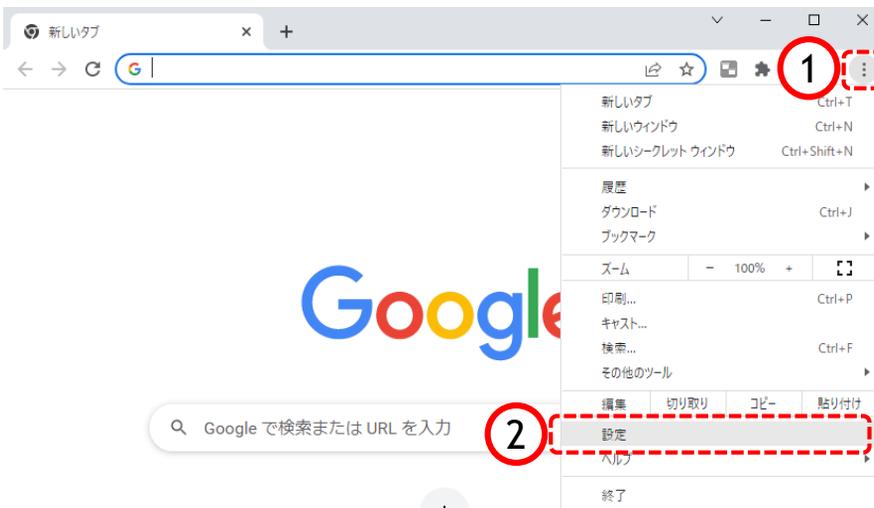
[*.]pref.osaka.jp

- 「[」は左角カッコ
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「*」はアスタリスク
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「.」はピリオド
(「る」のキーから入力可能)
- 「]」は右角カッコ
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。



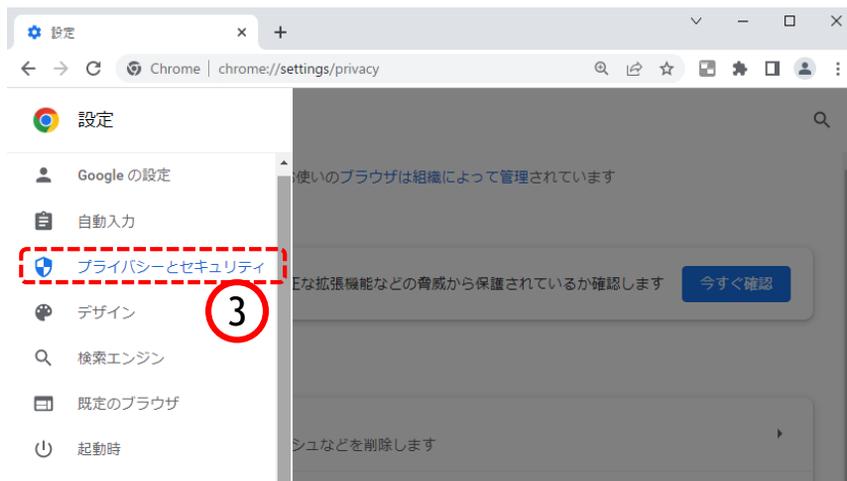
キーボードのキー配列図 (一部抜粋)



手順1

以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

- ① [三] ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



手順2

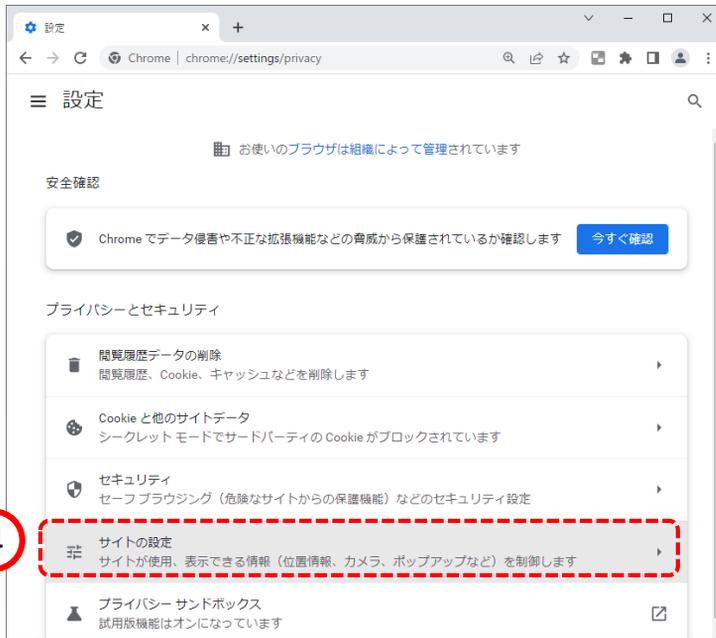
設定のプロファイル画面が表示されます。

- ③ 「プライバシーとセキュリティ」をクリックします。

手順3

プライバシーとセキュリティ画面が表示されます。

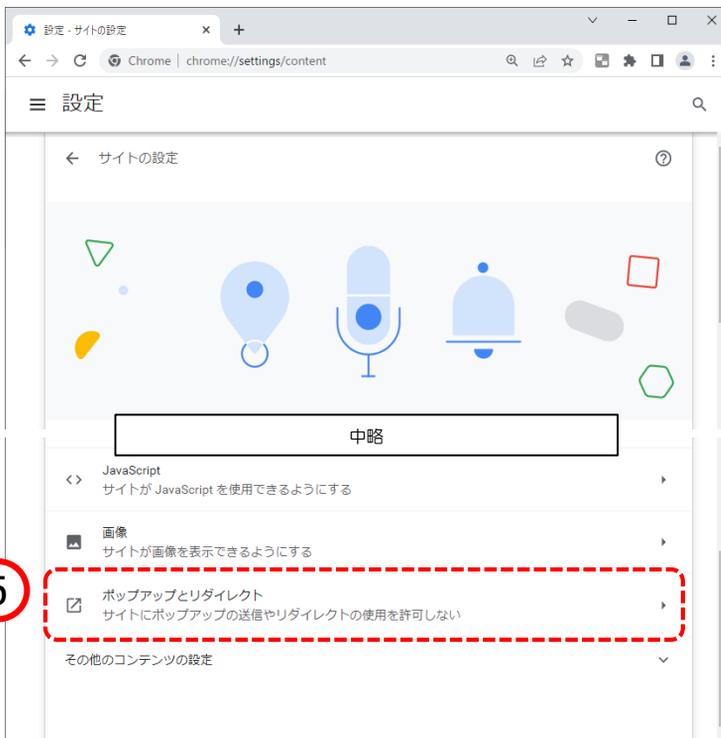
④「サイトの設定」をクリックします。



手順4

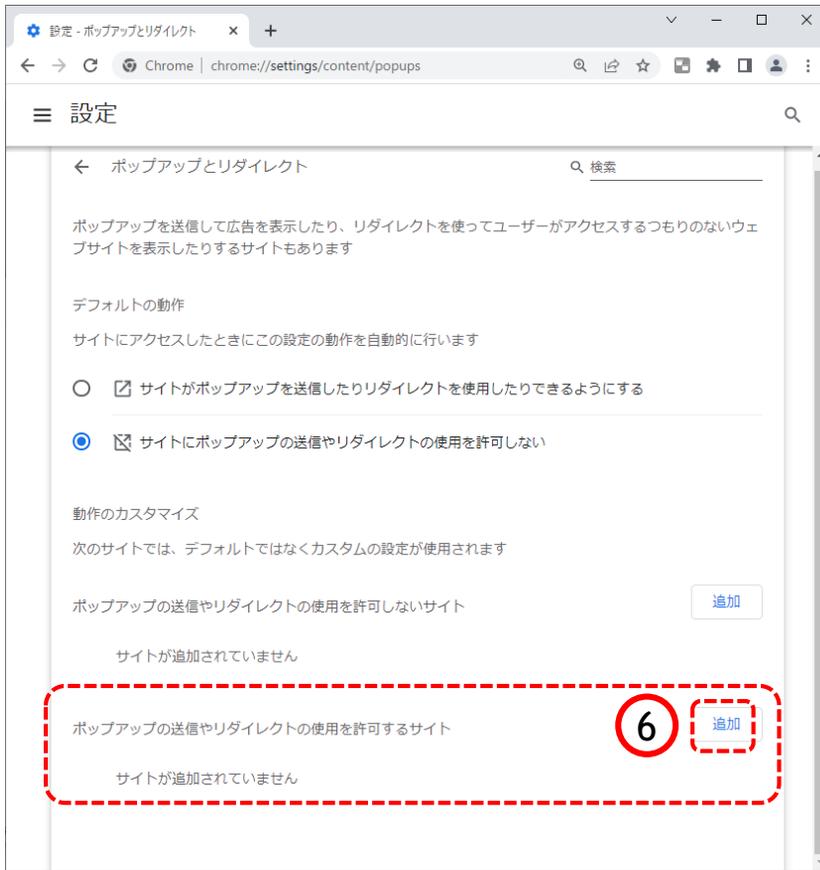
サイトの設定画面が表示されます。

⑤『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。





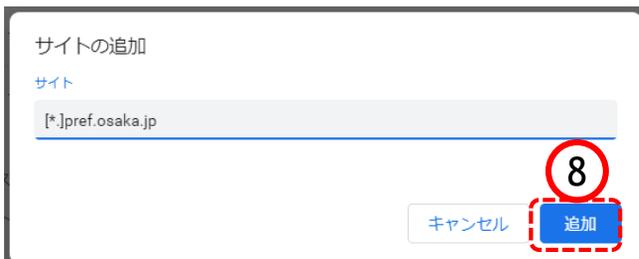
⑥ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイトの「追加」ボタンをクリックします。



サイトの追加画面が表示されます。

⑦『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

入力するアドレスは、
[*].pref.osaka.jp
です。



⑧「追加」ボタンをクリックします。

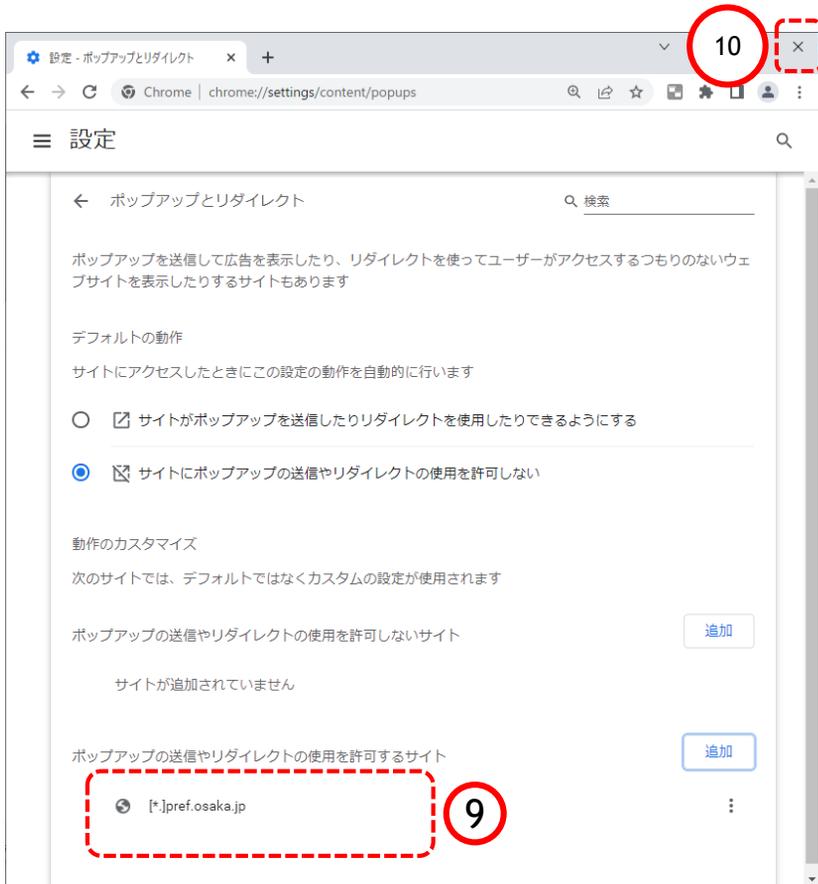


ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

⑨ 『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

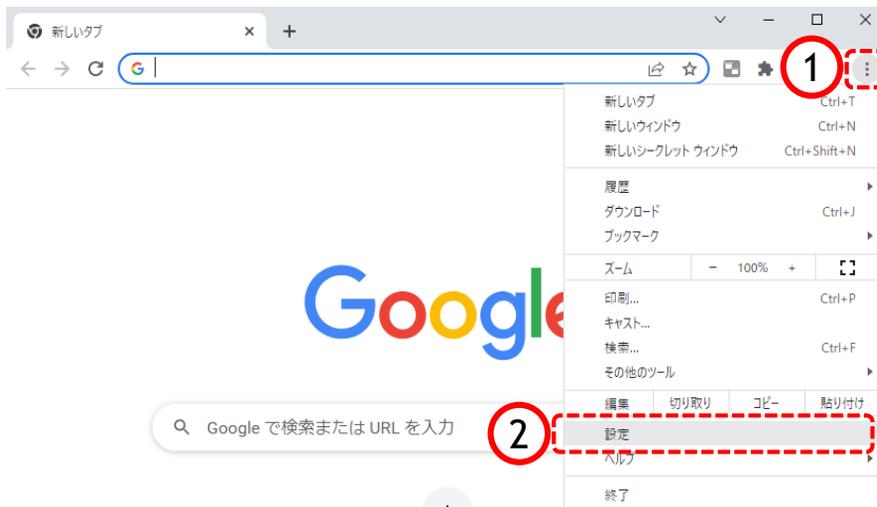
⑩ 右上「×」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上でポップアップの許可設定は終了です。



Google Chromeの場合 拡張機能を無効にする方法

後から追加したツールバー等、拡張機能が有効になっていると、「これらのページは応答していません」、「about:blank」といったメッセージが表示され、正しく動作しない場合があります。後から追加したツールバー等、拡張機能を無効にします。



手順1

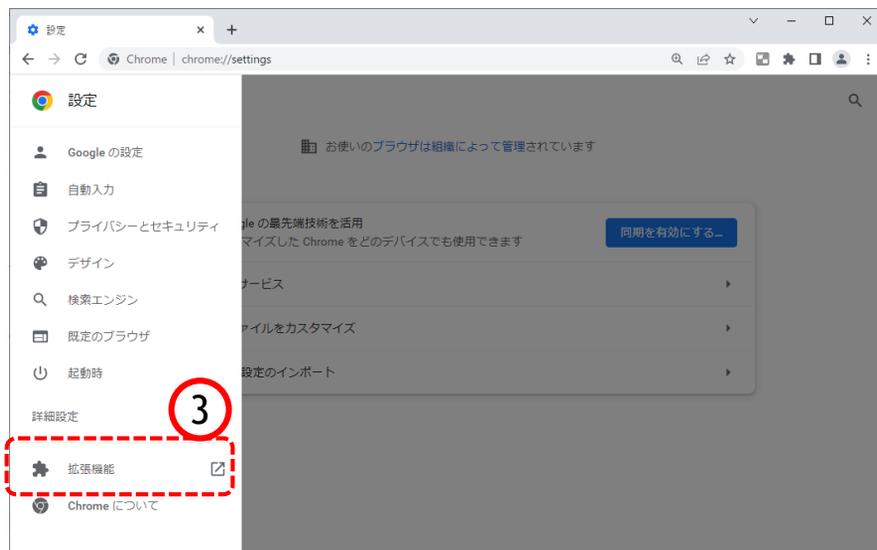
以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

- ① [三] ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



手順2

設定画面が表示されます。



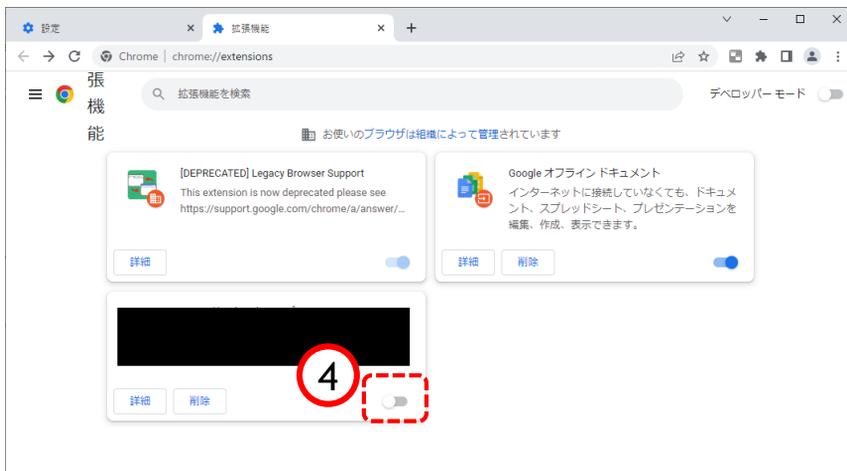
- ③ 設定画面の左側に表示されているメニューから「拡張機能」をクリックします。



手順3



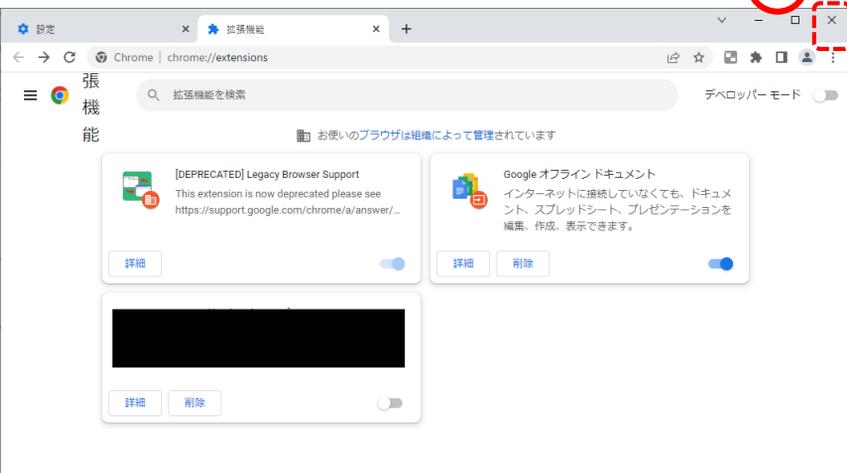
④後から追加したツールバー等について無効 にします。



5



手順4



⑤ 右上「X」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上で、拡張機能を無効にする方法は終了です。